

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書

団体名	Meria Rooms・生田 kids フラワーの会
-----	----------------------------

取組の名称	生田 kids フラワーの会
実施場所	<p>■生田まちぐるみ 川崎市多摩区西生田 2-1-6-2 階 (044-322-9180)</p> <p>■川崎市立南生田小学校わくわくプラザ 川崎市多摩区南生田 3-1-1 (044954-5677)</p> <p>■川崎市認可太陽の子 川崎市多摩区栗谷 2-16-14 (044-954-3906)</p> <p>■ケアセンターゆい (地域連携室 貸しスペース) 川崎市多摩区南生田 1-31-7</p> <p>そのほか、会員の自宅マンション貸しスペースや講師自宅にて開催 (すべて川崎市)</p>
対象地域	多摩区西生田・多摩区南生田・多摩区栗谷・多摩区登戸・麻生区万福寺
対象地域の特色・課題	<p>多摩丘陵に在り、都心にほど近いベッドタウンで子育て世代も多く居住する。緑に囲まれた環境ではあるが、大人同様に子ども達のライフスタイルも多様化する中で自然や緑・花に触れる機会は減少の傾向にあると推測する。</p> <p>継続的・計画的に自然・植物・花と触れあう取り組みを地域共働で行う必要があるのではないか。</p>

<p>取組の趣旨・目的</p>	<p>植物を通じて【子どもの心を育てる】をねらいとし、活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物にはいのちがある事を知る。いのちを頂いてアレンジメント制作を行う事でいのちの大切さを学び、花（いのち）を愛しむ心を育む。 ・花や緑に触れることで身近に自然を感じ取り、色や香り・感触など五感を使って感じる事で感動する心を育む。 ・植物（育苗・切花）を通じて、ものを創造する事の楽しみを知る（創造力を養う） ・発見や創意工夫を繰り返して作品を作り上げる事により、満足感や達成感を感じる事が子どもの自信につながる=自己肯定感を育てる。 ・個性あふれる作品を一人ひとりが制作することにより、一人ひとりが皆かけがえのない存在であること・自由であることを感じることで、自分や他者を認め合う気持ちを養う。 ・制作を通して友だち・親子、また地域とのコミュニケーションを深める。 ・四季折々の植物に触れると同時に、季節行事を知る事で文化・知識を深める。
<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>■<u>生田まちぐるみ会場・ケアセンターゆい会場・麻生区・多摩区</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生田町ぐるみ会場での実施⇒3回（4月・6月・10月） ○ケアセンターゆい会場での実施⇒1回（11月） （※2月と3月もケアセンター予定であったがコロナのため自宅開催で実施となった） ○麻生区・多摩区会場での実施⇒会員のマンションの貸しスペースや講師の自宅にて開催、合計6回 （5月・7月・8月・9月・2月・3月）

【概要】

季節の行事や習わし等を盛り込み、その時期の季節感あふれた切花や造花・ドライフラワーなどの植物を利用したフラワーアレンジメント制作やクラフトワーク。

子ども一人で取り組める内容から、親子制作・グループ制作等を実施した。

■太陽の子保育園

合計3回実施の計画のところ、保育園との協議のうえ、1月に1回実施とした。(1月)

【概要】

『お花にふれてみよう!』

次年度に年長クラスとなる4歳児クラスに向けて実施。

花瓶に切花を活ける内容。

未就学児童で切花を用いた花育は初めての事であったため、導入はお花のクイズをし、興味を引き出す。

どれくらいの花の種類があるのか等を知り、植物への興味関心を引き出すような実施内容。

その後3本の花と葉を使用した花瓶活け制作を行い、その後のお世話方法を伝え、家庭(保育園)にて観察したりすることで命の大切さ、優しい気持ち、命あるものをお世話する楽しさを伝える。

次年度年長クラスということもあり、花を通して小さな子への優しい気持ちを持つことなどの話を盛り込む。

■南生田小学校内わくわくプラザ

冬休み期間である12月にて、冬休み特別講座としての1回開催

【概要】

テーマを「お正月のフラワーアレンジメントをつくろう!」とし、お正月にちなんだ植物(生花・切り花)を使用したフラワーアレンジメントを制作する。

小学生児童ならではの創意工夫を発揮し、満足感・達成感を十分味わえるよう配慮しながら、制作をしてもらう。

一年の一番最初の一大季節行事であるお正月の習わしを学

	ぶ。楽しみながら興味を持てるように、お正月行事のクイズを行う。小学生の為、お正月にまつわる少し難しい言葉や漢字なども話の中に取り入れた。		
参加者の年代	4才(年中児)~12才	定員 (1回あたり)	月平均 13名※開催により差が有り
実施頻度	月1回	活動日数 (年間)	12日
スタッフ体制	1 開催につきだいたい講師以外に一人のボランティアスタッフ。ハサミの使用があるが、親子参加がほとんどのため、ハサミの正しい使用など、危険が無いように見守りが中心。		
連携する団体・ 連携の手法	<p>■生田まちぐるみ会場・ケアセンターゆい 生田まちぐるみは、「ママと子どもと社会を繋ぐ」をコンセプトに、広く地域に開かれた誰でも利用可能なレンタルスペース。駅前ということで、参加者の通いやすさも考慮しレンタルさせていただいた。 ケアセンターゆいは地域連携室とあって広く地域住人に対してレンタルスペースを提供しており、 近隣学校のPTAや各種講座なども盛んに行われている実績のある会場だったので、幅広いエリアの子どもたちの参加が見込まれたため利用させていただいた。</p> <p>■太陽の子保育園 子どもの育ちや様子を園の先生と密に連携しながら、開催内容・開催時期については見直し等もありながら実施した。</p> <p>■南生田小学校内わくわくプラザ 講座当日は冬休み期間の為、参加希望者も40名と大人数での実施となった。同施設の職員の方々にもボランティアとしてご協力を頂きながら実施した。</p>		

<p>取組実施により見込まれた効果</p>	<p>●まず、親と子・友だちと一緒に植物にふれることで得られる触れ合いやコミュニケーションを深めて頂くことができたと思う。</p> <p>またそれに限らず、参加者同士の縦のネットワーク・コミュニケーションの場が新たに生まれる事で地域社会全体で子どもを見守っていくことも一つの目的としていたが、実際には今後も継続することで、達成していきたい。</p> <p>●主に季節ならではの切花を使ったフラワーアレンジメントを制作して頂いたが、植物に実際に触れたときの感触や香り、また昔ながらの季節の行事と植物の関わりなどを知る事ができた。</p> <p>植物とのふれあう機会を持つことで、他には代えがたい喜びや楽しみ・興奮・新しい事を知る喜びなど、様々な感情を植物を通じて参加者に感じて頂くことができた。</p> <p>●切花を使って、その命を頂きながら制作をすることをいつもお伝えしていった。</p> <p>やさしさや思いやりの心を持ったり、命について考えるきっかけや、自分以外ひとが作った作品に触れることでみんなが違ってみんなが素敵なんだということを知るきっかけ作りの場となった。</p> <p>他人との違いや他者とのコミュニケーションの楽しさ・難しさへの気づき・また少し難しい事にもチャレンジする気持ちや、褒められてうれしかったり、アレンジを通じて自己の達成感や自信をもてるきっかけとなったと思われる。</p>
-----------------------	--